

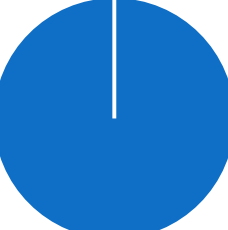


<b>株式会社OneStyle</b>				業種	建設業		
				事業所所在地	滋賀県守山市		
<b>被承継者</b>			<b>承継者</b>				
小林左官店 代表 小林 哲也		事業承継時年齢	39歳	株式会社OneStyle 代表取締役 和田 佑樹		事業承継時年齢	39歳
業種	建設業	事業所所在地	滋賀県守山市	業種	建設業	事業所所在地	滋賀県守山市
資本金		従業員数	1名	資本金	5,000千円	従業員数	12名
<b>事業承継前の主たる事業内容</b>				<b>事業承継前の主たる事業内容</b>			
祖父、親、子の3代にわたり約70年間事業を営んできた地域密着の左官店です。地域貢献にも力を入れて取り組んでおり、地元では有名な勝部火祭りの運営に親子3代にわたり貢献しているほか、地元の小学校にて左官の実習授業をおこない子供たちに物をつくる喜びや左官の魅力を教えています。				メイン事業として浴槽施工事業・キッチン施工事業等の住宅設備工事、サブ事業としてリフォーム工事や左官・外構工事を少ない件数ですがおこなっております。			
<b>被承継者と承継者の関係</b>				事業での取引があった			
<b>事業承継の経緯</b>							
<b>事業承継の検討を開始した時期 : 2018年10月</b>							
<b>被承継者</b>				<b>承継者</b>			
仕事数の増加により、新規雇用をおこないたいと検討していましたが、現在深刻な職人不足により個人事業では新規雇用の募集しても応募者がありませんでした。また、未経験者を育てようにも左官技術の習得には相当な年月を要するため安定した雇用環境を提供し長く働いてもらわないといけません。個人事業では難しい点も多い状態でした。さらに、新築・リフォームの話がきても左官・外構工事のみしかおこなえず、協力業者も限定されていたため、工事を請け負えないことも多く、ビジネスチャンスを逃す状態が続いていました。				<b>承継前の事業課題</b>			
①知り合いの紹介等により新規従業員の募集等をおこないましたがうまくいきませんでした。 ②今まで左官・外構の仕事のみをおこなってききましたが、以前より新築・リフォーム全体の仕事をしたいと考えており、事業を承継、統合することにより新たなビジネスチャンスがあると思いました。				<b>事業課題解決のために、 ①他に検討した手法は？ ②なぜ事業承継を選択したか？</b>			
以前から取引関係があり、何度かお話を重ねるうちにしっかりとビジネスプランを持った将来性のある会社だと感じておりました。				<b>相手先との交渉開始のきっかけ</b>			
特になし。				<b>課題と克服 ①財務</b>			
特になし。				<b>課題と克服 ②取引先との調整</b>			
3代にわたり約70年間事業を営んできた事業であり、事業統合するにあたり、和田さんと父を交えて今後のビジネスについてしっかりと話をさせていただき、父にも納得してもらったうえで事業承継をおこなうことができました。				<b>課題と克服 ③社内調整</b>			
従前の取引先への事業統合の案内、挨拶回りや新規取引先口座の開設等は少し大変でした。				<b>課題と克服 ④諸手続き</b>			
<b>事業承継を行った時期 : 2019年4月</b>							
<b>事業承継の形態</b>				<b>事業承継 成立の決め手になったのは？</b>			
事業譲渡				<b>被承継者</b>		<b>承継者</b>	
事業統合を行う決め手となったのは、株式会社OneStyleさんのビジネスプランがしっかりしていると感じたのと、私にとっても新たなビジネスチャンスを感じたためです。事業統合を行い新規採用や新たな取引先の開拓等の個人では出来なかった事が出来ると考えたのが事業統合の決め手となりました。				会社の今後のビジネスプランと合致したこともあり、小林左官さんの左官職人としての技術と仕事に対する思いが、会社にとって必ずプラスになると考えたためです。			

<b>経営革新等に係る取組の標題</b>			
<b>個人事業の技術を統合した新たな総合建築サービス事業への進出</b>			
<b>経営革新等に係る取組の内容</b>		<b>役務の新たな提供の方式の導入</b>	
●約70年間事業を営んできた地域密着の小林左官店は、深刻な職人不足に加えて、新築・リフォーム工事の依頼があっても左官・外構工事のみしか行えないため、工事を請け負えないことも多くビジネスチャンスを逃す状態が続いていた。一方、承継者が代表を務めていた法人では、主に浴槽設置施工事業を行っており、キッチン施工や水回りのリフォーム業務も少しづつ行っていた。近年、新築やリフォームに関する依頼にこたえるため、新たに新築・リフォーム事業を行いたいと検討していたがノウハウ等がなく行き詰っていた。 ●そこで、承継者は新たに株式会社OneStyleを設立して、小林左官店の事業を譲り受けた。これにより、それぞれの技術や強みを活かした新規事業として、新築・リフォーム事業、外構・左官事業を本格的に開始するため、お客様や取引先との商談、打合せや新規事業の業務拠点となる新店舗を開設した。また、新たにホームページを開設して、事例紹介や新築・リフォームに関する情報を発信して行く。 ●今後は、大工工事、住宅設備工事、外構・左官工事が自社工事として行えるようになったため、業務の効率化や高品質の施工体制を整え、新規取引先の獲得や従前からの取引先からの受注拡大を目指す。			
			
<b>地域経済やバリューチェーンへの貢献</b>		<b>補助対象経費の内訳</b>	
滋賀県建築組合主催の子供のもの作り体験への参加や地域の学校での実習授業への参加のほか、当社本社所在地の滋賀県守山市が今年、市政50周年となり、当社も市の記念事業に参加させていただいております。また新規雇用も積極的に行いたいと考えており、地域に根ざした会社としてお客様や取引先に愛していただけるように今後も地域活性化のお役に立てればと考えております。		設備費 	
		<b>経費の主な使い道</b>	
		設備費（新規店舗改修工事費）	
<b>認定経営革新等支援機関の名称 : 栗東市商工会</b>			
<b>認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施
認定支援機関の栗東市商工会には、新規事業計画の立案から新規創業時の融資等、創業前からいろいろご相談させていただいておりました。事業承継補助金においても制度の説明、事業計画の立案、各種提出書類の作成、補助事業の実施における相談まで全てにおいて、お力になっていただき大変感謝しております。			
<b>今後に向けて～次の目標</b>			
<b>2019年から2022年に向けて</b>		新設させていただいた店舗とホームページを積極的に活用し、現在少しずつ増えている個人のお客様からの受注を増やし、新築・リフォーム事業を伸ばしていきます。 また、今回の事業統合のケースのように、個人事業として建設関係の仕事をしている方で限界を感じておられる方の受け皿となれるような法人経営をおこない、職人・従業員が安心して働いてもらえる安定した雇用環境の提供を図り、地域雇用の促進、職人の技術伝承に取り組んでいきたいと思っております。	
<b>営業利益</b>	<b>50 %UP</b>		
<b>これから事業承継に取り組む事業者の方へ</b>			
<b>被承継者からの一言コメント</b>		<b>承継者からの一言コメント</b>	
事業統合をして一番うれしいことはたくさんの一運托生の仲間ができたことです。今まで一人で悩んできたことや、やりきれなかったことがたくさん仲間がいてくれることによりおこなえるようになりました。事業統合前は色々考える部分もありましたが、今は事業統合をして本当に良かったです。		今回事業統合をおこない感じたことと致しましては、事業統合においては被承継者と承継者とがたくさんのコミュニケーションより意思疎通を図ることがすごく重要だと感じました。特に早い段階で被承継者と承継者とが何度も話し合いをおこない、一緒に事業統合を進めていくことにより、事業統合後の会社運営が円滑に進めることができると思います。今後は、高齢化やインボイス制度等の影響により優れた技術をもった個人事業でも事業継続が難しくなることもあるかと思えます。事業承継・事業統合等によりそのような事業が今後も残っていくと嬉しいです。	